

# H23年度の国土地理院重点施策・予算要求

国土地理院 地理空間情報企画室

田中 宏明

# 国土地理院の重点施策

## 重点項目

### I. どこでも自分の位置が分かる仕組み作り

- ①最新宇宙測地技術等を活用した高精度位置情報基盤の確立
- ②地殻変動監視のための国際共同観測の推進
- ③場所情報コードを活用した位置情報サービスの実現

### II. 自分の周りに何があるか分かる仕組み作り

- ①基盤地図情報と電子国土基本図の一体的整備及び継続的更新のための仕組み作り
- ②基盤地図情報の仕様改定
- ③地球規模の諸課題解決に向けた地理空間情報の活用を推進
- ④人工衛星等宇宙技術により得られた最新画像の活用による地理空間情報整備
- ⑤電子国土基本図と整合がとれた土地利用等の基礎的な地理空間情報の整備
- ⑥電子国土Webシステムの機能強化と普及
- ⑦地理空間情報を高度に活用できる人材の育成及び測量資格制度の見直し

### III. 災害等緊急時にも何が起きているか速やかに分かり、安心して暮らせる仕組み作り

- ①火山監視機器の高度化やそれを用いた火山観測
- ②都市域の改変地形情報の更新と脆弱性に関する情報の高度化
- ③くにかぜⅢを用いた被災地画像等の提供
- ④地殻変動関連情報、被災地域周辺の地図、災害概況図等の迅速な提供
- ⑤緊急時の地理空間情報活用についての地方公共団体等に対する技術支援

## 主な予算項目

### I. どこでも自分の位置が分かる仕組み作り

- ①最新宇宙測地技術等を活用した高精度位置情報基盤の確立
  - － VLBI2010観測システムに向けた施設整備のための調査
  - － 電子基準点測量

- ③場所情報コードを活用した位置情報サービスの実現
  - － 場所情報コードの活用推進

### II. 自分の周りに何があるか分かる仕組み作り

- ①基盤地図情報と電子国土基本図の一体的整備及び継続的更新のための仕組み作り
  - － 基盤地図情報整備
  - － 基盤地図情報の活用促進

- ⑤電子国土基本図と整合がとれた土地利用等の基礎的な地理空間情報の整備
  - － 国土現況モニタリング

### III. 災害等緊急時にも何が起きているか速やかに分かり、安心して暮らせる仕組み作り

- ③くにかぜⅢを用いた被災地画像等の提供
  - － 測量用航空機による機動撮影

# 新たな位置情報基盤の確立

— 場所情報コードを活用した位置情報基盤の整備 —

## 場所情報コードとは

「場所」を識別するために、ユニーク(唯一無二)なID方式で場所に対して一意に与えるコード。

0.1秒位の緯度、経度と高さ(階層)の位置情報等をコード化する。

## 場所情報コードの構造

128bit

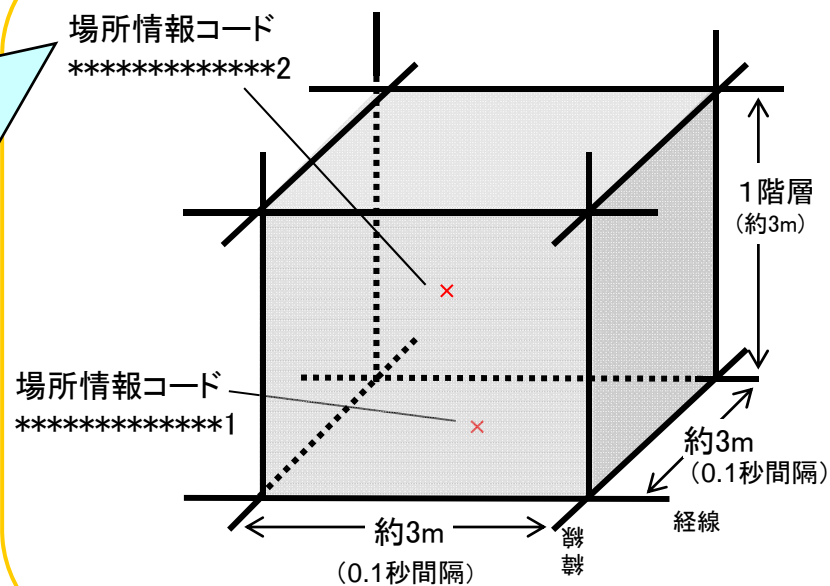
version等

Identification Code

Identification Codeに、位置情報(緯度、経度、高さ)とその精度を組み込む

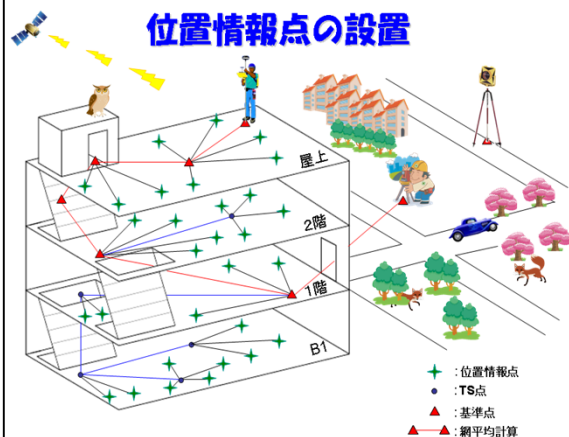
- ・ucodeに準拠し記述
- ・同じメッシュ内の点は連番で区別し、一意性を確保

## 場所情報コードのイメージ図



# 場所情報コードを活用した位置情報基盤の整備

## 場所情報コードを整備するためのガイドラインの策定



### ガイドライン

場所情報コードを付与した位置情報点 (ICタグ等) を設置する際に媒体の選定や位置測定手法とその精度の基準及び場所情報コードを発行・管理する体制についてとりまとめたもの。

### 策定に向けて

学識経験者や関係機関による検討  
(媒体の選定、位置測定手法、精度の基準...etc)

## 場所情報コードの活用イメージ

### 福祉

高齢者・障がい者が自力で移動できる環境を支援。

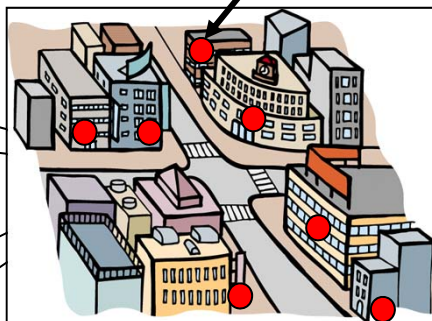


### 観光

近くにある観光スポットの詳細を交通情報とセットで案内。



### 場所情報コードを付与した位置情報点



### 交通案内



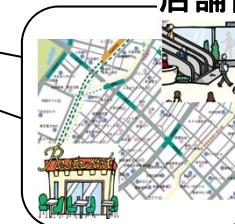
今いる場所から目的地までの最短経路 (どの改札から〇〇線経由で...) を案内。

### 防災

外出中の災害時でも、安全な避難経路が得られる。



### 店舗情報



最寄の店舗や病院、ATMなどの情報をニーズに合わせて紹介。

# 基盤地図情報整備

## 背景

- 平成19年5月30日「地理空間情報活用推進基本法（平成19年法律第63号）」公布（8月29日施行）
- 平成20年4月4日「成長力強化への早期実施策」において「地理空間情報の高度な活用による地域の活性化の早期実施」と記載
- 平成20年4月15日「地理空間情報活用推進基本計画」閣議決定
- 平成21年4月10日「経済危機対策」において「地理空間情報の整備・活用推進（G空間行動プランの推進）」と記載
- 平成21年4月17日「未来開拓戦略（Jリカバリー・プラン）」関連施策において、「G空間行動プランの推進（基本測量に関する長期計画プロジェクトの推進等）」が記載

## 共通基盤となる白地図（基盤図情報）の整備・更新・提供を推進

基盤地図情報を業務サイクルに組み込んで、業務効率の向上、経費の削減、アカウントビリティの向上に活かす



法定図書を活用し  
基盤地図情報を  
効率よく更新

オルソ画像を基盤地図情報等の  
整備・更新や情報補完に活用



## 効果

- ◎公共事業のライフサイクル・マネジメントを効率化し経費を軽減
- ◎都市再生に資するべく実施される各種施策等で情報の相互利用を促進
- ◎都市計画区域におけるシームレスな大縮尺地図を提供
- ◎民間活動その他非公共事業まで含めた地理空間情報の活用を促進
- ◎社会全体で地図の整備及び利用に関するコストを削減
- ☆これらを通じて、元気な日本の復活に寄与



# 基盤地図情報の活用促進

## 基盤地図情報の効率的な整備・更新

基盤地図情報の更新情報の効率的な収集体制の確立

国と地方公共が密接に連携した取組みが必要

国と地方公共団体の連携



- ・地域の実情に応じた産学官の関係者の連携体制の確立
- ・基盤地図情報の相互活用の課題等の解決方策の検討

## 地理空間情報を活用できる環境整備

測量成果等の提供・流通のルール

政府の個人情報・知的財産権に関する取扱いのガイドラインに準拠した、全国統一的なルールが必要

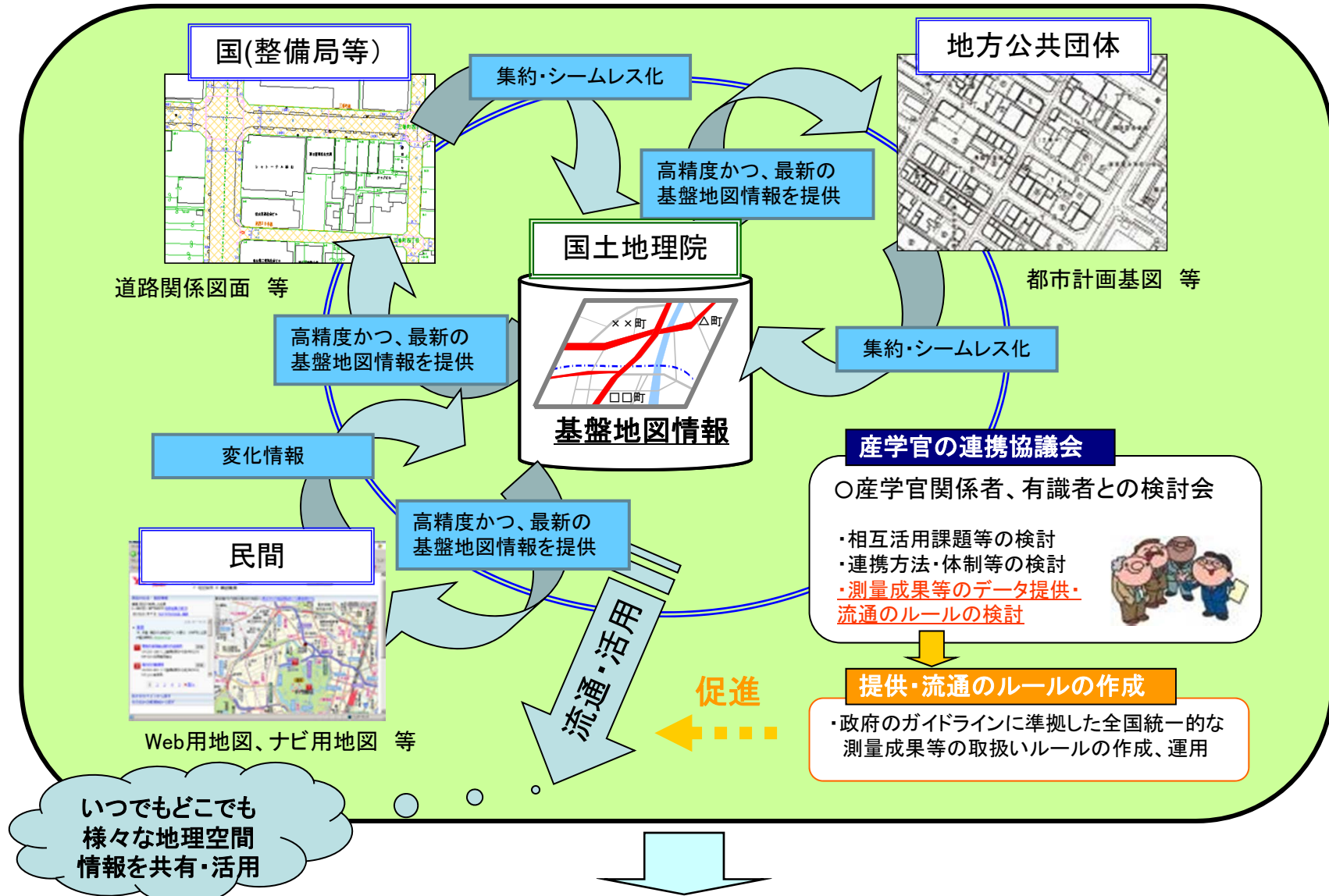
- ・測量成果等の提供・流通のルールの作成
- ・全国的なルールの普及・定着

各地域での取り組み

地域におけるきめ細かな基盤地図情報の活用促進体制の構築

# 基盤地図情報の活用促進

地域におけるきめ細かな基盤地図情報の活用促進体制の構築



基盤地図情報をはじめとした測量成果等の相互活用促進  
行政の効率化をはじめとした地理空間情報高度活用社会の実現